

## 学校運営協議会 会議実施報告書

1 会議名 岐阜総合学園高等学校学校運営協議会（第1回）

2 開催日時 令和4年5月26日（木） 13:30～

3 開催場所 本校 会議室（1号館2階）

4 参加者

（1）学校運営協議会委員 早瀬 雅彦 須賀地区兼須賀東地区自治会長

長屋 恭一 同窓会長

神谷 政人 （社）中部地域づくり協会

熊田ますみ 平成医療短期大学教授

木下ひかる 同窓会常任理事 （欠席）

水野 雅代 P T A役員（副会長）

二見 千尋 P T A役員（副会長） （欠席）

（2）学校職員

片岡 潤子 校長

宇佐美理恵子 事務部長

伏見 圭太 教頭

水野 裕子 教頭

岡田 心一 教務主任

片桐 一色 進路指導主事（代理 池田 功一教諭）

山田 祐治 生徒指導主事

5 会議の概要（協議事項）

（1）学校概要説明（学校経営計画を踏まえた今年度の方針、取組等について）

ア 生徒指導主事より説明

質問1：スマートフォンはロッカーに保管し、帰りのSHR後に取り出すとあるが、放課後の利用についてはどうなっているのか。

⇒ 放課後は基本的に自由に利用できる。「歩きスマホ」「ながらスマホ」等、課題があることも承知している。状況に応じて指導する必要も出てくるかもしれない。

質問2：他校に比べて、本校の生徒指導は厳しいと言われているが、保護者はどのように考えているのか。理解はあるのか。

⇒ 安全面等を考えるとある程度のルールは必要ではないか。

他校の生徒を見かける機会もあるが、スカートが短かったり化粧をしていたりと風紀が乱れていると感じることもある。その点、本校の生徒を見ると安心する。今のままでよいのではないか。

質問3：18歳で成人を迎えることに対して何か取組はあるか。

⇒ 新聞・テレビで報道されたとおり、教科等で取り組んでいる。

○今後の生徒指導（校則）について

意見1：「自分で判断できる力を育てる」という現在の方針でよい。

意見 2 : 本校の近隣に長く住んでいるが、統合前より生徒の印象は良くなった。自主的に節度を守れる生徒の育成を目指してほしい。

意見 3 : 現行でよい。(2名)

質問 1 : 資料に「男女別の規定を緩和・廃止」とあるが、どういうことか。

⇒ 女子の生徒がパンツの制服を選べるようになった。既に複数の生徒が着用している。

#### イ 教務主任より説明

意見 1 : 授業を参観して、手厚いサポートを感じた。

意見 2 : 教員の丁寧な指導が見られた。多くの教室でプロジェクターをうまく用いた説明がなされていた。教材は教員がそれぞれ作っているのか。(同意見多数)

意見 3 : 今年度定員割れとなったことを心配している。中学生に向けて総合学科についてさらにPRしてほしい。部活動もさらに活性化することを期待する。

意見 4 : 子供の同級生は岐阜や大垣の生徒が多く、各務原の生徒は少ない。各務原市内に向けてもっと本校をPRしてほしい。

意見 5 : 最近の中学生は普通科志向が強く、私立の普通科に生徒が多く流れている。就職は100%ということだが、中学生やその保護者が興味を持つよう、進学にもさらに力を入れてほしい。例えば、国公立大学の合格者を増やすことに注力してはどうか。

質問 1 : コロナへの対応はどうなっているのか。授業に対する手当は?

⇒ 健康チェックカードを用いている。体調不良に該当する項目にチェックがある場合は出席停止の扱いにしている。

1年生は教室で授業を行うことが多いので、オンライン学習支援によりリアルタイムで授業に参加している。2・3年は選択している科目が生徒にとって異なるので、現在タブレット端末に課題を配信することで支援している。今後はウェブで学習支援ができるように準備・検討している。

#### ウ 進路指導主事(代理教諭)より説明

意見 1 : コロナ禍によって、多人数集合形式のガイダンスからICTを用いた、少人数分散形式のガイダンスにしたら効果があったという報告が評価できる。進路指導部は長年ICEルーブリックを用いており、目標や方法、評価を明確にして取り組んでいるのがよい。

意見 2 : 「行きたい学校」「成長できる学校」が大事ということがよく理解できた。

意見 3 : 進学状況が評価できる。コロナ禍で逆に少人数の指導ができたというのもよい。

意見 4 : 進学費用の面から進学を断念せざるを得ない生徒がいるのは心が痛む。家庭との連携をさらに丁寧に進めてほしい。

質問 1 : 就職者の割合の増減について

⇒ ここ数年、学級数にかかわらず、40~50人で横ばいある。今年の3年生は

6クラスであるが、現時点の就職希望者が34～5名いることを考えると、今年度は就職希望者の割合が微増しているかもしれない。

質問2：同窓会とPTAが協力して、毎年夏に就職希望者の面接指導を行っている。学校運営協議会の資料には記載がないが、効果があるのか教えてほしい。

⇒ 夏季休業中に、教員以外の方から面接をしてもらうことで、生徒は自分の準備不足に気づくことができる。気づいた後、実際の試験まで練習期間が得られるという点で、効果は高い。多忙であることは承知しているが、今後も協力を願いたい。

## 6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校運営基本方針について承認が得られた。

協議においては、多くの質問や意見が得られた。部活動に対する中学生の意識の変化を踏まえて、中学生にどのように本校の魅力を発信していくか等、本会議を踏まえて学校運営の改善に努めていきたい。